

令和7年度 第3回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和7年11月27日(木) 午前9時30分～午前11時7分	
開催場所	西尾市役所 41会議室	
出席者	【会長】	
	日本福祉大学	千頭 聡
	【副会長】	
	西三河農業協同組合	黒野 善久
	【審議会委員】	
	西尾商工会議所	磯貝 剛
	一色さかなセンター株式会社	鳥居 正之
	西尾市観光協会	山本 吉明
	株式会社キャッチネットワーク	天野 栄
	西尾信用金庫	樺山 幸彦
	西尾公共職業安定所	手島 政志
	社会福祉法人せんねん村	木下 典子
	【事務局】	
	総合政策部 部長	西尾 隆治
	総合政策部秘書政策課 課長	石川 哲
	総合政策部秘書政策課 課長補佐	稲垣 淳一
	総合政策部秘書政策課 主任主査	杉浦 祐嗣
	総合政策部秘書政策課 主査	村松 宏昭
	総合政策部 専門委員	杉戸 厚吉
欠席者	【審議会委員】	
	一般社団法人西尾市スポーツ協会	内藤 貴久
傍聴者	なし（報道機関3名）	
内 容	1 開会	
	2 あいさつ 秘書政策課長の進行	
	千頭会長あいさつ	
	2 議題	
	(1) 将来人口推計について	
	【千頭会長】	
	それでは、資料1に沿って、人口推計について説明をお願いしたい。	
	《資料1》	
	事務局より説明、質疑応答の受付	
	【木下委員】	
	現在、市民における外国人の割合が7.3%になっていること、国別でみると、最も多いのがブラジルからベトナムになっているということを聞いた。	
	一色の一部エリアでは、津波のリスクはありながらも、リーズナブルな価格で	

	<p>比較的広い住宅を得られるということで、外国人の居住地としてコミュニティができつつあると聞いている。</p> <p>【事務局】 補足として、外国人の将来推計については、外国人に対する各種制度、円相場などの国際的な経済情勢などによって推計値が増減しやすい状況にある。</p> <p>【千頭会長】 人口推計をする場合、外国人の推計にあたってビザの区分ごとに推計は行っているのか。とりわけ、技能実習生は時限的な滞在になるので、結婚・出産には関係ない。</p> <p>【事務局】 ビザ区分での推計は行っていない。</p> <p>【樺山委員】 人口の増加が見込まれる３地区について、開発が予定されているのは具体的にどの辺りか。</p> <p>【事務局】 横須賀駅の東側などであるが、当該地域については当初よりは小さい区域になっている。</p> <p>【千頭会長】 西尾市において、住民基本台帳と国勢調査の人口の差はどのくらい違いがあるのか。</p> <p>【事務局】 今回の人口推計では、住民基本台帳のみを使用しているが、差としては概ね2,000人程度、住民基本台帳の方が多い。</p> <p>【木下委員】 １－３の結果、人口減少が前倒しで進んでいるという状況には大きな衝撃を受けた。</p> <p>【事務局】 我々も、どうすればこのような状況を回避できるのか、手をこまねいている状況にある。</p> <p>【千頭会長】 かつて、出生率の低下に直面したフランスでは、法体系を抜本的に変えて、結婚している・していないに関わらず、すべてが国の子どもであるという認識に立ち、積極的な子育て支援を行って、出生率の上昇を促した経緯がある。 その取組も岐路に来ていることや、家族に対する価値観・制度について様々な議論が起きている日本では難しい側面もある。 推計結果は衝撃的だが、悲観的にとらえることなく、総合戦略の推進により良いまちづくりを進めるという考え方は理解できる。</p>
--	---

	<p>(2) 第3期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について</p> <p>【千頭会長】</p> <p>それでは、資料2に沿って、総合戦略案について説明をお願いしたい。</p> <p>《資料2》</p> <p>事務局より説明</p> <p>スポーツについて、追加項目を説明</p> <p>【千頭会長】</p> <p>説明を受けて、ご質問やご意見をお出しいただきたい。</p> <p>【黒野副会長】</p> <p>p.14の漁業については、データがないということだが、お茶の販売はJAでは行っておらず、質問を受けると悩んでいる。</p> <p>【千頭会長】</p> <p>農産物についても、種類別の統計が公開されていないのが現状である。</p> <p>【鳥居委員】</p> <p>漁業についても、統計では下降気味だが、肌感覚では調子が良いと思っている。その辺りについて、杉戸さんがデータを整理していただいたようだ。</p> <p>【杉戸専門員】</p> <p>経済センサスによると、水産・農産物の卸売販売額について、県平均は微減で県内他自治体では大きく下げているのだが、西尾市では23.8%の増加となっている。改めて、西尾の水産物の集荷力、販売力が高いということが言えるのではないと思う。</p> <p>【鳥居委員】</p> <p>さかな村で土日は一般客向けに売っているが、売上額は2倍近くに増えている。漁師とともに販売事業者の力をともに高めていく必要がある。</p> <p>私の会社では、地元の魚を販売するのは概ね1割で、それ以外のところの水産物を扱っている。</p> <p>【鳥居委員】</p> <p>我々卸売業者が努力すれば、漁師も頑張って魚を捕ることに熱が入るようになる。水産資源の枯渇も問題だが、それよりも水産関係事業者の事業承継の方が大きな課題である。</p> <p>【山本委員】</p> <p>移住相談について、KPIは基準値0でこれからやるということか。</p> <p>人口を増やすには積極的な移住促進が必要なので、どのように相談を受けていくのか。</p> <p>【事務局】</p> <p>窓口として開設していないので来年度から取組を開始する。しかし、個別での相談は既にいくらかある。相談内容は気候やレクリエーションなど多様である。</p> <p>相談窓口を開いてすぐに移住者を増やすということではなく、ニーズや動向を</p>
--	---

	<p>探ることを進めていきたい。</p> <p>【樺山委員】 前回の意見を取り入れていただくなどして、かなり読みやすくなった。 本市が抱える課題の民間との連携はかなり効果のあることだと考えており、市民も巻き込んで進めていくことが重要である。これまでの取組についての効果を検証・評価をきちんとすることで、利益・効果を優先しがちな企業にとっても継続・拡大につながるのではないかと。</p> <p>【天野委員】 人口推計と総合戦略との関係性、人口推計の活用方策はどのように想定するのか。 市民に将来人口推計を示すと、大きな衝撃が想定されるし、総合戦略の見方が変わるのではないかと。</p> <p>【事務局】 将来人口推計の結果は、既に議会に報告する際に報道にも発表しているが、市民の皆様への公開の仕方は順次考えていきたい。</p> <p>【天野委員】 市民への理解を得るためにも、どのように伝えていくのが大切である。</p> <p>【千頭会長】 小学校についても、統廃合の議論が出てくるのではないかと。学校をつくるのに50～60億円かかるので、どうするか悩ましいところがある。</p> <p>【事務局】 まさに議論の最中であり小学校のあり方を検討している。</p> <p>【千頭会長】 一番意欲的に総合戦略をつくって進行管理を進めることになるが、総合計画との整合性や進行管理の兼ね合いが各課にとって二重にならないようにすることへの配慮は。</p> <p>【事務局】 総合計画は全分野にわたる最上位計画であり、総合戦略は人口対策を中心に取組をまとめたものであり、今回は幅広い取組を位置づけている。 今回の総合戦略を7年間推進しつつ、その次には総合計画と総合戦略を一体的に策定したいと考えている。</p> <p>【千頭会長】 総合計画の中間見直し時にも、配慮していただきたい。 今後の流れについて、説明をお願いしたい。</p> <p>《口頭》 事務局より、今後の策定スケジュールについて説明</p> <p>【千頭会長】</p>
--	--

	<p>今日のこれが一字一句ということではないが、審議会としては概ねこの形で答申するということでよろしいか。</p> <p>⇒異議なし。</p> <p>《答申》</p> <p>【中村市長】</p> <p>熱心に議論していただきありがとうございました。我々が漠然と思っていた以上に人口減少が進むだろうという認識をもった。西尾市においては人口減少の実感がないなかで、深刻さを受け止めながら長期的な視点でしっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>皆様からの意見を受け止めて、今後の市政に反映していく。ありがとうございました。</p> <p>【千頭会長】</p> <p>数字は厳しいものになっているが、悲観的にならないことが重要である。</p> <p>また、転入者を増やすことも重要だが、西尾の子どもたちが帰って来たいと思える「わがまち西尾」の素晴らしさをしっかり伝えていただきたい。</p> <p>審議にご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>11 時 7 分閉会</p>
--	--